

# ぎかい だより



## 390年の伝統を未来へつなぐ

(7月8日 羽生てんのうさま夏まつり)

9P	8P	2~7P
審議案件と結果	議案に対する質疑 全国市議会議長会表彰	市政に対する一般質問 総務文教正副委員長改選

### 6月定例市議会



# 市政に 対する

# 一般質問

## そこが… 聞きたい



一般質問は、提出議案以外で市政全般にわたる事務の執行状況や将来に向かっての方針などを執行部に問うものです。今期定例会では、6月20日、21日、22日の3日間にわたり11人の議員によって行われました。

主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

### 交差点の十字、T字の白線標示と 自発光センター鋺について

本田 裕 議員

- ・質問 次の点を伺う。
- ①市道交差点の十字、T字の路面への標示の現状について
- ②交差点の十字、T字の白線標示が年月の経過により、消えたり、消えなかったりしているが、法定外表示等の設置指針に基づく引き直しの計画について
- ③破損している自発光センター鋺の取り換えの計画について
- ・答弁 (まちづくり部長)
- ①市道の交差点の十字、T字の白線標示は消えている、消えかかっている箇所が多数存在している状況である。羽生市が昭和30年代初めから街中において土地区画整理事業による宅地開発に着手し、その後、下水道管の布設に合わせ



消えかかった十字白線標示 (南8丁目)

て道路舗装や路面標示を行なっている。その後時間が経過していることも要因の一つと考えている。

②法定外表示などの設置指針及び埼玉県警察本部の埼玉県道路標示設置要領等に基づき、交差点の十字、T字の白

線標示は幅員5.5m未満の市町村道で、原則として中央線のない道路同士の交差点で、道路の交差が現場の状況により不明確な場合に設置することができるとなっている。よって、鈴木電器から文化ホールまでの道路は、標示を設置しないこととなる。その他の市道交差点は、同通達等に従い今後表示しなおすべき箇所は対応して行く。

③自発光センター鋺は、既存の製品が舗装面に埋め込まれているため、周囲の舗装をはがす必要があり、1箇所につき約10万円の費用を要する。交換にあたっては、コストを抑えた安全対策として、今後、交差点の手前に標識やチャターパーと呼ばれる反射式道路鋺など視覚に加えて路面の凹凸による体感に訴える施設に置き換え、交差点の存在を明示し、安全を確保して行きたいと考えている。

#### その他の質問

・葛西用水堤の桜の保全と育成について

・多世代ふれあいセンターについて

議会インターネット中継を  
ご利用ください。

<http://smart.discussvision.net/smart/hanyu/>

こちらのQRコードからもアクセスできます。



(変更後)  
総務文教委員会  
根岸 義男 議員  
永沼 正人 議員

常任委員会の所属変更

委員長 保泉 和正 議員  
副委員長 柳沢 暁 議員

総務文教委員会において  
正副委員長が改選

# 算数セットなどの学用品の 学校購入、貸し出しについて

柳沢 暁 議員

・質問 算数セットは毎年微妙に変わっており「上の子のお下がりを使おうと思っても色が違うなどにより、子どもが周りと違うのを嫌がり使えない。」「子どもが3人いるので3つ購入した。」「学校で購入して貸し出して欲しい。」「教材ひとつひとつに名前を

書くのが大変。」等の住民の声がある。名古屋市内の多くの学校では、20年以上前に公費負担で購入し、授業の際に貸し出す形をとっている。このことから、次の点を伺う。  
①学校購入、貸し出しの見解  
②学校で購入する場合の費用

・答弁(学校教育部長)

①算数セットについては、市内小学校11校中、1校で貸し出しを実施している。他の10校は、個々に保護者に購入していただいているが、10校全ての学校で家庭にあるものを利用したり、譲り受けたりしたものを利用しても良い旨を入学説明会の際に保護者に説明している。

各学校の規模や状況等を踏まえ、算数セットなどの学用品の学校購入、貸し出しについて、各学校の判断に委ねる



算数セット

のが良いと考えている。  
②算数セットは、1セット2,800円で今年度の新1年生の合計人数が404名で、市全体では、113万1,200円となる。

彫刻刀は、平均2,000円で、4年生の図工で使用する。今年度の4年生の合計人数は441名で、市全体では、88万2,000円となる。  
30センチ物差しは、160円で、2年生の算数から使用する。今年度の2年生の合計人数は416名で、市全体では、6万6,560円となる。

その他の質問  
・運転免許返納推進、公共交通の充実について  
・児童館の開設について

# 羽生市の園芸農家の現状と これからの市の支援策について

阿部 義治 議員

・質問 食料自給率低下等の課題解決や食の安全性が広く求められている中で、市の伝統産業である園芸農家への支援策や後継者育成等の市の取り組みについて、次の点を伺う。  
①きゅうり・なすなどの園芸農家数及び販売額の推移について

②市の支援策及び県農林振興センターの技術指導や「JAほくさい」との連携の状況について  
③後継者育成のための対応策について  
④羽生産「ゆず」にネーミングを活用し販売してはどうか

・答弁(経済環境部長)

①平成28年度のきゅうり、なすの農家数は、33戸、販売額3億2,900万円、10年前と比較して農家数で30戸、販売額で1億1,100万円の

減少となっている。

②市は、市独自の補助事業だけでなく、国・県の補助事業の活用に向け側面から支援を行なっている。一方、加須農林振興センターは、技術指導のほか、新技術に対する情報提供を行なっている。また、JAほくさいは、各地区で現地検討会を実施し、栽培技術の平準化、土壌診断や農薬の選定等の相談を行なっている。

未滿の新規就農認定農業者に対して支援する青年就農給付金の予算計上をしている。  
④今後、ゆずは地域特産品につながる品目の一つとして、加工品等の可能性について調査研究を進めて行きたい。ネーミングについては、消費者の評価、動向を踏まえて、生産者と検討することが望ましいと考えている。



園芸用ビニールハウス  
(須影地内)

③はにゅう農業担い手育成塾における就農研修に対して補助する就農研修給付金と45歳

その他の質問  
・保育料滞納の状況と解消のための取組みについて

# 観光地域づくりについて

峯寄 貴生 議員

・質問 観光基本計画にある観光交流人口100万人を達成し、羽生市を更に活性化させる必要がある。現在、市外から多くの人が訪れているキャッセ羽生を中心に農村地帯ならではの体験プログラムを行い、観光地域づくりをして行くべきと考え、次の点

- ①現状と課題について
- ②日本版DMOへの見解について
- ③観光圏の整備について
- ④ニューツーリズムへの取組みについて
- ⑤滞在交流人口の増加への取組みについて

・答弁(経済環境部長) ①世界キャラクターさみっとin羽生など各種イベントの実施により、入込観光客数が70万人に上るなど、一定の効果が出ている。一方、課題として、観光客の中心市街地への誘導・周遊に結び付かないなど、プロモーション力が不十分なことがあげられる。

②今後、観光に係る関係団体との合意形成や役割分担、財源確保などの課題を洗い出すとともに、先進事例を学びつつ、今後の方向性や組織の在



キャッセ羽生

り方などを検討して行きたい。③平成25年度より、さいたま水族館、古代蓮の里、加須未来館、キャッセ羽生の4施設を中心に観光ネットワーキングを主催している。今後とも

観光圏の整備に対する機運の盛り上がりを見極めながら、調査研究して行きたい。④地元の人しか知らない魅力的な場所や体験、食、癒し、人的交流など地域資源を掘り起こし、魅力発信に取り組みでいきたい。

⑤滞在交流型観光に力を入れた観光施策に舵取りをし、交流人口の増加を目指すことが重要と考えている。

## その他の質問

「ヤード」対策について

いる。

プール施設が使用に耐えない状態となった学校については、複数校で近くの学校プールを使用することも考えられる。その際の安全面や移動方法を検討し、円滑に移行できるように準備を進めたいと考えている。

## その他の質問

・公共施設と小中学校の安全対策について(サッカー・ハンドボールゴール等)

・自動翻訳機の導入について

# 学校プールの今後について

中島 直樹 議員

・質問 高度経済成長期に整備された全国の学校プール。学習指導要領では水泳授業の明記がないばかりではなく、子ども達に専門的な授業は行われていない。さらに昨今、老朽化が進み、学校プールの維持、管理が多くの自治体を悩ませている。

羽生市においても、学校プールの老朽化は著しく、多額の修繕費を必要としている。そうした中、1校1プールの既成概念から脱却し、学校プールの集約化を進める自治体が見られるようになった。学校プールの今後について、羽生市はどのように考えてい



老朽化が進むプール (東中)

るのか、見解を伺う。  
・答弁(学校教育部長) 学習指導要領に明記がないものの、市内の小中学校では、年間10時間程度を目安に校内に設置されたプールで水泳の

授業を実施している。

小中学校のプールは設置後30年以上経過している学校もあり、プール槽、ろ過機等、各所に老朽化が見られる。現在は、不具合箇所を修繕し、稼働させている状態である。

公共施設等総合管理計画を進めて行く上では、大きな課題であると捉えているものの、義務教育における水泳の指導は必要と考えており、全国の事例を参考に公共プールの整備や民間の活用等、方針を模索して行きたいと考えて

# 消防力の整備・強化について

齊藤 隆議員

・質問 次の点を伺う。

- ①羽生市職員定数条例では、消防職員定数を79名と定めている。しかし、長きにわたって定員数を満たしていない。消防職員の過重勤務改善も含め職員の増員を行うべきと考えるが、その見解について
- ②消防力の整備指針では、はしご自動車の配備の規定があるが、羽生市としてははしご自動車配備の見解について

・答弁(消防長)

①今年度、条例定数に対する充足率は、96・2%となっている。今後も計画的な職員配置も視野に入れ消防力の充実強化に努めて行きたい。

また、勤務状況の改善については、署員の不足時には、消防本部の「毎日勤務者」が補充するなどローテーションをしっかりと組んで対応し、少しずつではあるが、改善を図っているところである。

②公共施設等を活用して消防本部機能を確保するため、一

番の問題となる119番回線停止については、通信業者より迂回措置が可能との回答等を得ているため、本部機能の移転場所の選定等について、計画の策定に向けて今後、検



羽生市消防署

討して行きたい。

③消防力の整備指針の中では、災害現場まで30分未満で活動が開始できる場合は、はしご自動車の整備基準外となっている。隣接する加須消防署、行田市消防署ともにこの条件を満たすことから、中高層建物の災害には応援協定により消防活動を行なっているところである。

## その他の質問

・保育施設における事故防止のために

# 自転車安全対策について

野中 一城議員

・質問 自転車運転のマナー向上と事故防止強化のため、次の点について伺う。

- ①羽生市で行われている交通安全講習会等の現状と参加者の状況について
- ②小学校での交通安全講習会の状況について
- ③ヘルメット購入費補助金及

び幼児二人同乗自転車購入費補助金制度の導入について

④自転車安全利用条例の策定に対する見解について

・答弁(総務部長)

①羽生市交通安全母の会主催による親子自転車教室が開催され、昨年は児童116名、保護者43名の方が受講した。



また、羽生市交通安全対策協

議会の構成団体の皆さんによる自転車安全利用キャンペーンを毎年4回実施し、自転車乗車時の交通ルールの順守や自転車の交通事故防止を呼び掛けている。

②毎年4月から6月にかけて市内全小学校で交通安全教室を実施しており、児童の交通安全対策に力を注いでいる。

③自転車用ヘルメットの着用は、交通事故防止や事故による被害の縮小に大変効果があると認識しており、購入費補助金制度については、今後調

査研究を行なっていく。幼児二人同乗自転車については、安全運行の確保の観点から、幼児二人同乗自転車購入費補助金制度の導入ではなく、より安全な一人乗り用自転車の安全運転啓発を行なっていく。

④5月1日現在の自転車の安全利用に関する条例の策定状況は、県内63市町村中15市町では、交通安全事故防止のため、自転車安全利用条例の効果や必要性などの調査研究を行なっていく。

# 羽生市いじめ問題

## 調査審議会について

永沼 正人 議員

- ・質問 次の点について何う。
- ①開催状況について
- ②審議会委員、会長について
- ③識見を有する者、その他教育委員会が必要と認める者の選定基準について
- ④第三者調査委員会としての独立性の担保について
- ⑤取手市の第三者調査委員会

解散に対する教育委員会の見解について

・答弁 (学校教育部長)

- ①平成26年度から年1回開催している。また、重大事態が発生した場合は、臨時に開催するが現在までの開催はない。
- ②審議会の委員は、医師、弁護士、PTA関係者、臨床心

理士、人権擁護委員の5名である。また、会長は、弁護士が務めている。

③平成26年12月に策定した羽生市いじめの防止等のための基本的な方針の中に、組織の構成は、調査の公平性・中立性を確保するため、学識経験者、心理や福祉の専門家等の専門的知識及び経験を有する者となり、これを選定基準としている。

④方針には、当該いじめ事案の関係者と直接の人間関係又は特別の利害関係を有しない

第三者とすると定めており、



独立性は担保されている。  
⑤取手市教育委員会は、いじめの重大事態という認識がなく、いじめ対策に関する危機管理意識が不十分であったと捉えている。今後、羽生市いじめの防止等のための基本的な方針の改訂を進めていく。取手市の件を対岸の火事とせず、いじめ問題に対峙するとともに各学校に指導していく。

・市長デュルビュイ市訪問について

### その他の質問

## 指定管理者制度の活用について

島村 勉 議員

- ・質問 ①指定管理者による管理を、勤労者総合福祉センター、もくせいのみ、道の駅にはいう、斎場、清和園、産業文化ホールの6施設で行なっているが、その評価について何う。
- ②行政改革の観点からの今後の指定管理者制度の活用につ

いて何う。

- ③平成23年12月定例市議会において、時期尚早とのことでは否決された羽生市体育館及び羽生中央公園の指定管理者制度導入に対する見解について何う。

・答弁 (企画財務部長)

- ①市民サービスの向上に伴う



羽生市体育館

施設の利用機会の増加や、環境に配慮した省エネルギーへの

の取り組み、自主事業の実施など、民間の活力を生かした効果が発揮されているものと考えている。また、経費削減額は、清和園の年間約2千2百万円、その他の施設では、約2百万円から約5百万円が削減されており、本制度の導入は成功しているものと考えている。

②市民サービスの向上や経費削減など行政改革の効果が期待できることから、新たな施設への指定管理者制度導入の検討を含め、今後も指定管理

者制度を活用していく。

③羽生市体育館及び羽生中央公園は、過去に指定管理者制度を導入すべく市議会に提案したが、検討不十分として理解を得られなかった。こうした経緯を踏まえ、指定管理者の導入にあたっては、業務分担や経費の十分な検討を行うとともに、体育協会とスポーツ団体の意見を伺いながら決定していきたい。

### その他の質問

・ラウンドアバウトについて

# 農地の環境整備と 耕作放棄地について

奥沢和明議員

・質問 ①農地の環境整備の状況と耕作放棄地の関係について伺う。

②低整備率地域への事業傾斜配分について伺う。

③発戸地区の埼玉型ほ場整備事業の内容及び近隣地区への普及について伺う。

④悪条件地域の今後の整備方針について伺う。

・答弁 (経済環境部長)

①平成28年度における市内の耕作放棄地面積は48ヘクタールで、市内農地の1.8%を占めている。耕作放棄地の発生要因は、農業の担い手が少ない、用排水路が整備されていない、農地が10アール区画また

は、未整備などである。

②営農条件の悪い農地を含む地域では、地域の農業が抱える課題をスピード感を持って解決するため、事業の傾斜配分だけでなく、農地中間管理事業の活用を前提に、ほ場整備事業や用排水路改修事業について国や県の事業を活用し実施していくことが最善の策であると考える。

③事業内容は、事業面積約43ヘクタール、事業費約5億円、事業期間は平成27年度から30年度で埼玉県営として実施す

る。事業費負担は、国が50%、県が27・5%、市が22・5%で、土地所有者の負担は、道路の拡幅用地の寄附のみで、自治会、農地所有者、耕作者及び行政が一体となり地域の農地を守っていく事業である。現在取り組んでいる農地中間管理事業を活用した農業基盤整備事業を近隣地区へ普及させることは重要である。

④農地中間管理事業を活用した、ほ場整備事業の実施を第一に考え取り組んでいく。

・質問 次の点について伺う。

①観光交流人口100万人受け入れの経過について

②選手・関係者・応援団・観光客など対象としている分野について

③民泊と首都圏へのピストン輸送の実施について

・答弁 (生涯学習部長)

①羽生市では、観光交流人口100万人を目標に掲げているが、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催は、海外からの観光客を羽生市へ呼び込む大きなきっかけの1つになると捉えている。

②事前キャンプ地誘致等を目

指し、5月31日から6月6日

までベルギー王国デュルビューイ市を、市長ほか4名で訪問し、ベルギーオリンピック委員会の関係者に直接面会して、事前キャンプ地として羽生市を訪問していただけるよう提案してきた。今後も、事前キャンプ地誘致のため、選手や関係者に照準をあてた取り組みを実施していく。

# 2020年の東京オリンピック・パラリンピックにおける羽生市のPR活動について

丑久保恒行議員

・質問 次の点について伺う。

①観光交流人口100万人受け入れの経過について

②選手・関係者・応援団・観光客など対象としている分野について

③民泊と首都圏へのピストン輸送の実施について

④事前キャンプ地誘致等を目



耕作放棄農地 (村君地内)

る。事業費負担は、国が50%、県が27・5%、市が22・5%で、土地所有者の負担は、道路の拡幅用地の寄附のみで、自治会、農地所有者、耕作者及び行政が一体となり地域の農地を守っていく事業である。現在取り組んでいる農地中間管理事業を活用した農業基盤整備事業を近隣地区へ普及させることは重要である。

④農地中間管理事業を活用した、ほ場整備事業の実施を第一に考え取り組んでいく。

が、宿泊施設の整備面、安全面、衛生面などの課題もあり、今後国や県の方針を踏まえ、対応を検討していく。

羽生市から都内へのアクセスは、高速道路や鉄道の利用により、1時間あまりという好条件である。今後も、国や県の動向を注視しながら、国にホストタウンの登録申請を継続的に行なっていく。

## その他の質問

・都市交流・国際交流の推進について

# 議案に対する質疑

「議案に対する質疑」は、議会に上程された議案について、質疑を行うことであり、賛否の意思決定をするため議案の提出者に対し説明や考えを求めめるものです。今期定例会では、次の議員によって行われました。

## 斉藤 隆 議員

- 議案第24号 平成29年度羽生市一般会計補正予算(第1号)
- ・質疑 埼玉県のウエルカムベイビープロジェクト事業の補助金を活用し、早期不妊検査費用に対する助成を行うとしているが、次の点を伺う。
- ①事業の概要について
- ②早期不妊検査費助成事業の対象件数、内容及び広報のあり方について
- ③早期不妊検査から治療までの包括的取り組みについて

## 答弁(市民福祉部長)

- ①少子化対策として、子どもを望む夫婦の不妊に関する総合的な支援施策である。
- ②妻の年齢が43歳未満の夫婦が対象で36件を見込み、夫婦共に受けた検査費用1回限り、上限2万円とする。

## 中島直樹 議員

- 議案第24号 平成29年度羽生市一般会計補正予算(第1号)
- ・質疑 国の経営体育成支援事業補助金を活用した支援の具体的な内容について伺う。
- ・答弁(経済環境部長)
- 農業の担い手育成・確保を推進するため、農業用施設等の導入を支援するものである。

## その他の質疑

## 議案第26号

対象者は、地区ごとに策定された「人・農地プラン」に位置づけられた認定新規就農者である。補助対象は、ビニールハウスなどの整備、トラクターやコンバインなどの農業用機械の取得などで、助成額は、事業費の10分の3以内、上限300万円である。今回の事業実施者は、市外から転入し、はにゅう農業担い手育成塾の塾生として、1年間の研修を経て、平成26年4月から須影地内で空いているビニールハウス約700平方メートルを借り受け、キュウリの生産・販売をしている新規就農者である。今回この事業を活用して、新たにビニールハウスの整備を行い、経営面積の拡大により、経営発展を図るものである。



## 全国及び埼玉県市議会議長会表彰

去る5月24日に全国市議会議長会定期総会において、市議会議員の表彰が行われ、羽生市議会議員では、奥沢和明議員、根岸義男議員、島村勉議員、保泉和正議員が勤続10年表彰を受けました。また、



埼玉県市議会議長会からも同表彰を受け、6月13日の本会議において、議長より表彰状の伝達式が行われました。

## ボートレース戸田

県内15市で構成する都市競艇組合の収益金の一部は、毎年構成各市に交付され、市民の皆様の暮らしに役立っています。

## 開催日

月	火	水	木	金	土	日
					9月9日	10
					第7回スマホマクール杯	
11	12	13	14	15	16	17
第7回スマホマクール杯						
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	10月1日
			スカパー・ブロードキャスティング杯			

※埼玉県都市競艇組合主催のみ掲載しております。

## 傍聴について

羽生市議会では、本会議の傍聴を実施しております。市役所5階で受付をしていただければ、どなたでも傍聴できます。(一般席48席) また、常任委員会の傍聴(6席)も実施しておりますので、開催日等をご確認のうえ、お気軽におこしください。

常任委員会は午前9時30分に開会いたしますので、傍聴を希望される方は開会前におこしください。

なお、開会後の入退室は休憩中においていただけます。

詳しくは、市のホームページをご覧ください。事務局にお問い合わせください。

☎048(561)1121 (内線) 513

6月定例会 審議案件とその結果

●議決結果の公表について

議会改革の一環として、「市民に明確な意思表示をする」という目的のもと、議員自らの考えを分かりやすく市民に示す手段のひとつとして、各議員の表決結果を掲載しています。

薫風会…薫風 拓政会…拓政 公明党…公明 日本共産党…共産 無党派…無派 【賛成：○ 反対：× 退席：退 欠席：欠】

Table with columns for 議案番号, 議案名, and 審議結果, with sub-columns for each political party (薫風, 拓政, 公明, 共産, 無派).

市長提出議案

Table listing 19 municipal proposals (第19号 to 第29号) with their descriptions and voting results for each party.

※議長は採決に加わりません。

※9月定例会市議会の日程は、8月31日(木)に開催予定の議会運営委員会にて正式に決まりますので、変更になる場合もあります。

Calendar table for the 9th regular council meeting, showing dates from 9/28 to 9/4, days of the week, times, and meeting content.

9月定例会市議会の日程は、左記のような日程で予定されています。

# 各常任委員会の経過

## 総務文教 委員会

委員会上に付託された案件は、議案3件でした。

平成29年度羽生市一般会計補正予算第1号の審査では、教育費において「桑崎砂丘が埼玉県指定の天然記念物として指定されたことに伴い、標柱及び説明板を設置することだが、桑崎三神社を設置場所とした理由について何う。」との質疑に対して「桑崎三神社の敷地が指定地となったため、そこに設置するものである。ほかの民有地などにも砂丘跡が存在しているが、開発の規制が出来ないため、一般的に、後世まで残すことが出来る公共用地や神社の

敷地などが天然記念物として指定されている。」との答弁がありました。

また、財産の取得については「災害対応特殊救急自動車の購入に際し、納車時期について何う。」との質疑に対して「メーカーからは、約6ヶ月かかると言われている。今後の予定としては、今定例会で議決された場合には、来年3月16日を最終期限として、出来る



審査結果を報告する永沼委員長

## 都市民生 委員会

委員会上に付託された案件は、議案4件でした。

平成29年度羽生市一般会計補正予算第1号の審査では、保健衛生費において「早期不妊検査費助成金72万円について、その内容と、不妊治療にどう結び付けるか何う。」との質疑に対して「出生率を向上させるため、不妊検査費用に対して、2万円を上限に助成するものである。また、治療が必要となった場合、不妊治療に対する助成もあり、こちらを活用し早期の不妊治療を促していく。」との答弁があり

だけ早く納車してもらえよう、打合せをしているところである。」との答弁がありました。

ました。

次に、羽生市事務手数料徴収条例の一部を改正する条例の審査では「低炭素建築物新築等計画の認定の申請に対する審査に関する手数料の改正ということだが、認定を受けるメリットについて何う。」との質疑に対して「低炭素建築物に認定されると、登録免許税の税



審査結果を報告する島村委員長

率引き下げや住宅ローン減税の最大控除額の引き上げなどの優遇措置が受けられる。」との答弁がありました。

委員会上では、これらの審査の結果、付託議案4件はいずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

### 6月定例会議会傍聴者数

6月13日	0人
20日	12人
21日	25人
22日	2人
29日	1人
計	40人

### 常任委員会傍聴者数

6月23日	0人
計	0人

### 《議会だより編集委員会》

委員長	松本敏夫
副委員長	中島直樹
委員	斉藤隆
委員	保泉和正
委員	島村勉

ご意見などを  
編集委員会まで



☎048(561)1121  
(内線)513